

都道府県教育委員会教育長殿
高等学校長殿
中学校長殿
国立大学附属学校長殿

令和4年9月吉日

金沢大学長 和田 隆志
附属高等学校長 中澤 宏一

第4回WWL研究大会・第32回高校教育研究協議会ご案内

晩秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本学附属高等学校は5年間のSGH校の指定を終え、2019年度より文部科学省WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業（以下「WWL事業」という）における拠点校に指定されました（管理機関は金沢大学）。予定では、昨年度が最終年度でしたが、1年間の延長を受け、今年度が最終年度となりました。北陸圏域の高校をはじめ、県外の高校、企業、海外の高校などにより持続的なネットワーク（「北陸ALネットワーク」）を構築し、北陸圏域における「持続可能な世界を実現し、Society5.0を牽引するグローバル・リーダーの育成」を目的としてWWL事業を展開しています。また、今年度の研究主題を「キーコンピテンシーと学習評価を考える」と設定し、観点別評価が導入され、探究的な学びが活発になっていく中で、「キーコンピテンシーをどのようにとらえ、どのように評価していくか」を各教科において考え、実践研究に励んでいるところです。

WWL事業の総括ならびに、新しい教育課程実施にむけての実践研究発表・協議として、下記のとおり第4回WWL研究大会・第32回高校教育研究協議会を開催いたします。

つきましては、公務ご多忙の折とは存じますが、多数の皆様にご参加をいただき、今後の教育について皆様と共有する機会といたしたく、ご案内申し上げます。

記

1. 主 催 金沢大学 金沢大学附属高等学校
2. 日 時 令和4年11月19日（土）
3. 会 場 金沢大学附属高等学校 （金沢市平和町1丁目1番15号）

※ 対面型とオンライン（Zoom）開催を両立したハイブリッド型で行います。

4. 主 題 「キーコンピテンシーと学習評価を考える」

5. プログラム

(9:00より Zoom の接続開始予定)

9:00 ~ 9:30	受付	
9:30 ~ 9:45	開式行事 (開会挨拶など)	有朋館
9:45 ~ 11:45	教科別研究協議会	有朋館
	国語・地理歴史・理科	理科講義室
		美術室
11:45 ~ 13:00	休憩	
13:00 ~ 14:30	学びの共有の時間 (生徒の探究成果発表会)	体育館
		1年教室
		2年教室
14:45 ~ 15:30	全体会 助言者 金沢大学理事 塩川 達大	有朋館
	研究報告 (WWL事業の総括など)	
15:30 ~ 15:45	閉式行事 (閉会挨拶など)	有朋館

6. 研究協議会 (9:45~11:45)

(1) 国語

提案者 (公開教室)	助言者 (所属)	タイトル	提案概要 事前参加準備
酒井将平 金森久貴 (有朋館)	市澤 周治 (石川県教育 委員会)	主体性の評価について	主体性をどのように評価するか。今回は、「学びの質に着目した問いづくり」の取り組みについて紹介し、実際に生徒の立てた問いなどを検討しながら、研究会形式で行いたいと思います。公開授業を行いません。 事前参加準備は特にありません。

(2) 地理歴史

提案者 (公開教室)	助言者 (所属)	タイトル	提案概要 事前参加準備
宮崎 高啓 (美術室)	今野 日出晴 (岩手大学教育 学部教授)	歴史教育の転機に我々 はどう向き合うか	<p>今年度より高等学校では新学習指導要領が施行され、歴史教育では従来の日本史・世界史2科目体制が廃止され、新科目「歴史総合」が設立された。歴史教育の転機に際して、歴史学や歴史教育関係者からは期待の声が相次ぐ。しかしながら、新学習指導要領や「歴史総合」をめぐるっては、新自由主義の影響や通史の放棄など様々な問題を指摘する研究も発表されており、評価は割れている。</p> <p>本研究会では、新学習指導要領の理論的研究を主導してきた今野日出晴氏の仕事に学びつつ、実践段階として歴史教育は今後どうあるべきか、参加者と考える場にしたい。</p> <p>本分科会では公開授業を行わず、研究会形式で進めます。当日の議論の前提として、以下2論文を取り上げますので、参加者は事前にお読みください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今野日出晴「内面化される『規範』と動員される『主体』」(『歴史評論』828号, 2019年4月) ・今野日出晴「批判が忌避される時代の歴史教育」(『同時代史研究』第13号, 2020年9月) <p>※お申し込みいただいたメールアドレス宛に、論文のPDFファイルをお送りします</p>

(3) 理科

提案者 (公開教室)	助言者 (所属)	タイトル	提案概要 事前参加準備
柿島 宏平 (物理講義室)	田中 忠芳 (金沢工業大学 基礎教育部)	文章表現力の育成 とその評価方法	<p>課題ワークシートや実験レポート作成時におけるグループでの言語活動を通して、文章表現に対する評価方法を検討します。特に、新学習指導要領における『思考・判断・表現』と『主体的に学習に取り組む態度』を可能な限り、客観的に分析・評価する方法を提案します。※本分科会では公開授業を行う代わりに、本校の理科(物理・化学・生物)における観点別評価の取り組みを報告し、その後に、理科の学び</p>

			を評価するためのワークショップを行う予定です。観点別評価についての悩みや困っていることを皆様と共有できればと思います。
			事前参加準備は特にありません。

7. 学びの共有の時間(生徒の探究成果発表会) 13:00~14:30

学年	教室	教科	内 容	担当教員
2年生 1年生	体育館	総合的な探究の時間 (探究ゼミ)	今年度は生徒・教員がともに高いモチベーションで取り組めるよう、学年一括の探究活動を変えて、内容重視で集まった『探究ゼミ』という異学年交流のゼミ活動へ探究の形を変化させて取り組んでいる。各ゼミの中では、生徒と教員とが話し合いを重ね、日々、内容を深めている。原則、先生1人が1つのゼミを担当し、各ゼミ単位で工夫しながら、生徒全員が主体的に取り組めるよう、探究活動が進んでいる。本時は、中間発表ということで、学びを広げる活動、すなわち「自分がゼミで学んだことを他者に広げること」と、「他者と共有した学びを議論によってより広げること」という、2つの意味の学びの広がりをご覧いただく。	酒井 将平 戸田 偉 真喜志 みどり 赤松 信弘 酒井 佑士 室谷 洋樹 金森 久貴 宮崎 嵩啓 塚田 章裕 島村潤一郎 田中 雄太 外山 康平 渡会 兼也 柿島 宏平 判 勇雅 荒納 郁美 北野 真理恵 真木 啓生 斎藤 瑞紀 白山 智佳 辻岡 夏彦
	1A 1B 1C			
	2A 2B 2C			

8. 参加申し込み (参加費不要)

11月15日(火)までに下記URLもしくは右のQRコードから、フォームにてお申し込み下さい。

11月16日(水)にZoom ミーティング参加URLなどをメールでお知らせします。

<https://forms.gle/6cVsnM372uJ8mjTW8>



申し込みは本校ホームページからも可能です (<http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/kfshs/>)。)

◎ 問い合わせ先

金沢大学附属高等学校研究部
〒921-8105 金沢市平和町1丁目1番15号
TEL (076) 226-2154 FAX (076) 226-2150
E-mail komura.nobuyo@adm.kanazawa-u.ac.jp